

へ 詩 へ

北海道中札内高等養護学校 三年

柏浦 榛日

無 題

繋ぐ心から 流れ込む
きつと僕らは 馴染み合えた

仲 間

絆が深ければ 記憶も深い
濃くて 深ければ消えるのが遅くてさ

音が鳴り響く 廊下
靴裏「キュッキュッ」
芯「カチツカチツ」

雨にも負けず

北海道岩見沢高等養護学校 一年

齋藤 光陽

昨日の自分にも、負けず
困難にも負けず
才能を持つ人にも負けず
強い奴にも負けず
あきらめない気持ちを持ち
人を想う気持ちを大事にして
いつも周りと笑っていて
悲しんでいる人を笑顔にしたい
たまに今が永遠に続けばいいと思うけれど
進まなければ何も始まらない
夜の明けない朝はない
そういう人に私はなりたい

※宮澤賢治「雨ニモ負ケズ」をモチーフに自分の人生を考えました。

ねむたさにも負けず

北海道岩見沢高等養護学校 一年

村上 夢

ねむたさにも負けず
おねえちゃんにも負けず
おいしいものにも負けず
むずかしい勉強にも負けず
苦手な作文にも負けず
自分にも負けず
強い気持ちを持ち
親を大切にす
いつも健康でいたい
ときどき不安な気持ちになるけれど
そういうときはおさんぽする
将来は小さい子のお世話をする仕事について
やさしい元気な子になってほしいとねがう
そういう人に私はなりたいた

※宮澤賢治「雨ニモ負ケズ」をモチーフに自分の人生を考え
ました。

絶対に抜く

北海道今金高等養護学校 二年

渡邊 流空

紅いはちまきを締めなおす
自分の手にバトンが渡る
顔を上げる。前には二人
足を前に大きく出す
みるみる足の回転速度が上がり、白組に迫る
相手より早くアンカーにバトンを渡す
「よっしゃ勝った」

〈短歌〉

空見上げ 思わず見とれた 夕暮れの
混ざる色彩 スマホ残して

北海道札幌視覚支援学校 高等部三年

山田 一葉

夕立に 降られ空を 見上げれば

三本の虹 輝く夕日

北海道帯広盲学校 中学部三年

吉田 莓歌

虫の声 続く階段 鳥居の中

奥へ惹かれる 神隠しのよう

北海道中札内高等養護学校幕別分校 二年

江崎 鈴桜奈

香雪園 どんぐり混じる 枯れ葉たち

燈に照らされ 燃えるもみぢかな

北海道函館聾学校 中学部一年

福壽 渉

祭りかな 大勢の人 行き交う駅

夜はにぎやか 朝は眠る

北海道中札内高等養護学校幕別分校 二年

熊谷 拓夢

節電で 減らす努力を 一歩ずつ

皆で協力 さあがんばろう

北海道釧路鶴野支援学校 高等部一年

宮下 海人

大阪城 近く見えるが 道のり遠く

到着するも また階段だ

北海道中札内高等養護学校幕別分校 二年

村井 堅祐

歩いてく 光がチラチラ 映え写真

赤いトンネル 千本鳥居

北海道中札内高等養護学校幕別分校 二年

宇佐美 玲奈

〈俳句・川柳〉

白いかさ 正体みたり 毒キノコ

北海道函館盲学校 中学部一年

K・W

天気良し 光り輝き まぶしすぎ

金箔はつてる 金閣寺かな

北海道中札内高等養護学校幕別分校 二年

加納 葵

さくら見て 家族とおさん歩 うれしいな

ひまわりが 一番すきな お花です

スーパーで かきを見つけて 感じる秋

冬休み 家族で雪山 そりすべり

ミンミンと セミ鳴く声を 聞きながら

アイスを食べる 夏の訪れ

北海道手稲養護学校三角山分校 高等部三年

馬淵 祐汰

北海道釧路鶴野支援学校 中学部二年

木村 るみか

意識せず 口角上がる 最終日

北海道札幌稲穂高等支援学校 二年

浅田 優菜

手際いい 憧れいなく 先輩に

北海道札幌稲穂高等支援学校 二年

青木 鴻介

草むしり 暑い中庭 一人だし

北海道札幌稲穂高等支援学校 二年

金子 あさひ

机から ボロボロボーロ 逃げていく

北海道札幌稲穂高等支援学校 二年

古川 大樹

教わった 苦も続ければ 楽になる

北海道札幌稲穂高等支援学校 二年

田村 大和

コロナ禍で コロコロ変わる 変異株

北海道あいの里高等支援学校 二年

濱谷 歩武

チューリップ 花の色は 色々だ

北海道千歳高等支援学校 一年

辻村 優志

アブラゼミ 今日鳴くよ ミンミンと

北海道千歳高等支援学校 一年

畑中 煌

秋が来た 灯油を入れたら ぬくもりに

北海道千歳高等支援学校 一年

益山 幸大

イチヨウの葉 散らす木枯らし 道染める

北海道旭川高等支援学校 二年

佐藤 大斗

雪がふる きれいな空は 冬の夜

北海道千歳高等支援学校 一年

関 心咲

白い風 ゆられて落つる 照り紅葉

北海道旭川高等支援学校 二年

S・S

ねえコロナ 自宅療養 長すぎよ

北海道白樺高等養護学校 一年

岡嶋 那奈

銀世界 窓を隠して 猫になる

北海道旭川高等支援学校 二年

石井 秋介

凍る空 昇り咲いてく 一輪華

北海道伊達高等養護学校 三年

長谷川 春葵

片思い 花火と散った 夏休み

北海道新得高等支援学校 一年

長尾 京弥

秋の空 雲一つあり さつまいも

秋に乗って 恐竜達も 動きます

もくもくと 羊集合 光の間

北海道拓北養護学校 中学部三年

西島 愛菜

あきかぜの おそとでたとき てはつめたい

ゆびしやぶり まつたけうどん たべたいなあ

ななかまど ちいさなとまと かわいいね

カリカリの ぶどうのたねを ペってだす

てもって すっぱいりんご おいしいな

北海道旭川養護学校 高等部三年

佐藤 悠生

スポーツの 秋はワクワク 楽しいぞ

北海道夕張高等養護学校 二年

道見 昂世

秋の色 もみじの色が 木から散る

北海道夕張高等養護学校 二年

吉村 秀太

十五夜 くりを食べよう 秋の空

北海道夕張高等養護学校 二年

大久保 桐

松ぼくり さがしてみつけ うれしいな

北海道夕張高等養護学校 二年

西田 愛理

登校日 足元踊る 桜の葉

市立札幌みなみの杜高等支援学校 二年

池内 希光

夕風や ふたりの影を 照らす海

市立札幌みなみの杜高等支援学校 二年

葛西 夢叶

流れ星 刹那の記憶 夜の秋

市立札幌みなみの杜高等支援学校 二年

杉谷 凜律

冬景色 道民の悪夢 都民の夢

市立札幌みなみの杜高等支援学校 二年

駒ヶ峯 青生